

株式会社エクストランス

X-MON3

X-MON 構成情報管理

2016/8 版

まえがき

本書は X-MON3 系列における構成情報管理機能を解説しております。

そのため、基本的な OS や GUI の一般的な操作、用語などについては知識をご理解の上でお読みください。

また、X-MON の操作画面はお使いの OS やブラウザによって異なる場合がございます。

- ・ 本書における解説環境

X-MON ver 3.3.0

X-MON ver 3.0.8 以降の「ビジュアルマップ機能」については、別途 X-MON サポートページからダウンロードしてください。

<http://x-mon.jp/support/>

2013 年 07 月

改定履歴
2013 年 07 月 初版
2014 年 08 月 二版
2016 年 08 月 三版

Copyright © 2004-2016 X-TRANS, Inc. All Rights Reserved.

目次

1	構成管理とは.....	4
1.1	X-MONの構成管理機能について.....	4
1.1.1	ハードウェア情報.....	4
1.1.2	場所情報.....	4
1.1.3	ソフトウェア.....	5
1.2	ドキュメント管理.....	5
1.3	その他.....	5
1.4	本書について.....	5
2	ホストに構成情報を設定する.....	6
2.1	ハードウェア情報を設定する.....	8
2.1.1	新しく企業を登録する.....	12
2.2	場所を設定する.....	14
2.3	ラックを設定する.....	16
2.4	電源システムを設定する.....	18
2.5	ソフトウェア情報を設定する.....	20
2.5.1	ソフトウェア情報を編集する.....	23
2.5.2	ソフトウェア情報を削除する.....	24
2.6	設定した構成情報を確認する.....	25
3	企業管理について.....	28
3.1	新しく企業を登録する.....	28
3.2	企業の情報を編集する.....	30
3.3	企業を削除する.....	32
3.4	企業情報を確認する.....	32
4	場所管理について.....	34
4.1	新しく場所を登録する.....	34
4.2	場所の情報を編集する.....	37
4.3	場所を削除する.....	38
4.4	場所の情報を確認する.....	39
4.4.1	ホスト情報の構成情報.....	39
4.4.2	ロケーションマップ.....	40
5	ラック管理について.....	43
5.1	新しくラックを登録する.....	43
5.2	ラックの情報を編集する.....	46
5.3	ラックを削除する.....	47

5.4	ラックの情報を確認する	48
5.4.1	ホスト情報の構成情報	48
5.4.2	ロケーションマップ	49
6	電源システム管理について	51
6.1	新しく電源システムを登録する	51
6.2	電源システムの情報を編集する	53
6.3	電源システムを削除する	54
6.4	電源システム（使用量）を確認する	55
7	SNMP を用いて構成情報を取得する	57
7.1	ホスト登録時の SNMP 設定	57
7.2	OID の確認	57
7.2.1	ネットワーク情報	57
7.2.2	ハードウェア情報	58
7.3	構成情報を取得する	59
8	構成情報の変更履歴を確認する	63
9	ドキュメント管理	65
9.1	ドキュメントを X-MON に登録する	65
9.1.1	ホストに対してドキュメントを関連付ける	68
9.1.2	サービスに対してドキュメントを関連付ける	72
9.1.3	場所に対してドキュメントを関連付ける	75
9.1.4	ラックに対してドキュメントを関連付ける	78
9.1.5	ホスト・サービス情報画面からドキュメントを X-MON に登録する	82
9.2	X-MON に登録したドキュメントを編集する	83
9.3	X-MON に登録したドキュメントをダウンロードする	85
9.4	X-MON に登録したドキュメントを削除する	86

1 構成管理とは

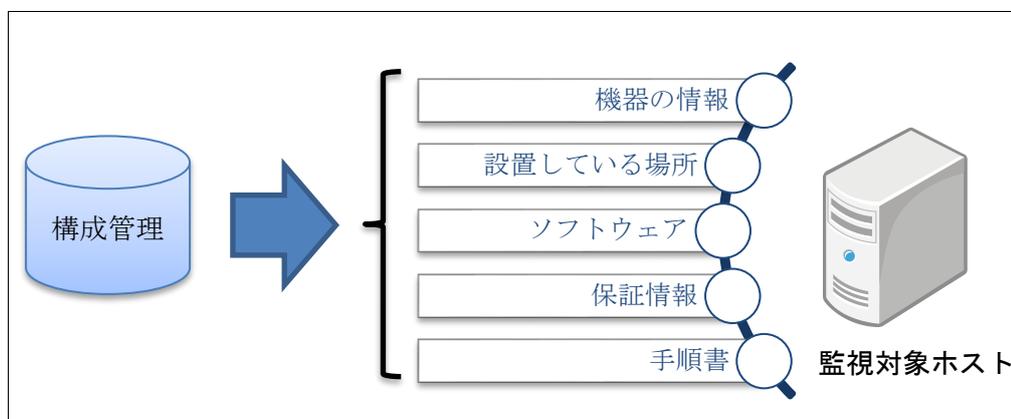
IT サービスマネジメントの中で機器やソフトウェアの管理はもっとも重要なプロセスの一つとして位置づけられています。

これら構成アイテムを管理しておくのが CMDB (Configuration Management Database) : 構成管理データベースです。

X-MON では構成管理機能を用いて機器への情報を管理する機能が備えられています。うまく活用する事により、機器の故障時の対応やドキュメントの管理、手順の反映など運用管理において必要な場面に応じて迅速に対応出来る機能となっております。

本書では構成管理に使用する情報全てを大きく「構成情報管理」と呼びます。

(X-MON には CMDB 自体の機能は備えられていませんのでご注意ください)



1.1 X-MON の構成管理機能について

X-MON では登録しているホストに対して構成管理を行う事が出来ます。大きくわけて

- ・ハードウェア情報
- ・場所情報
- ・ソフトウェア名

の3つに分けられます。

1.1.1 ハードウェア情報

ハードウェア情報はハードウェア名、メーカー、から CPU、メモリのリソース、保守情報や保守期限についても情報を登録できます。

1.1.2 場所情報

場所情報はホストを設置している場所を登録できます。また、ラックや電源システムも設定できます。場所に対しても、住所や電話番号、データセンターなどでしたら入館の方法の情報も登録できますので、便利にご活用頂けます。

1.1.3 ソフトウェア

ソフトウェアはホストで稼働しているソフトウェアの情報を登録できます。
使用している OS や商用ソフトの場合はシリアル番号や所有者の情報も登録できます。

1.2 ドキュメント管理

ドキュメント管理の機能では手順書や保証書のドキュメントを X-MON にアップロードし、ホスト毎やサービス毎、また場所に対して関連付けをする事が可能です。

1.3 その他

構成管理を支援する機能として SNMP を用いた構成情報の検出機能、構成情報の変更履歴やマップ機能にてロケーション（場所ごと）の表示など機能を備えています。

1.4 本書について

本書では、X-MON での構成情報管理の設定方法について解説しております。
X-MON 自身には CMDB の機能は備わっておりませんのでご注意ください。
また、CMDB がない環境でも、機器に対して情報を登録し管理する事は可能ですので、
広く本機能をご利用頂ければと思います。

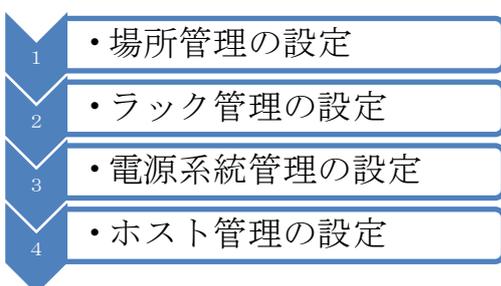
2 ホストに構成情報を設定する

本章では X-MON に登録されているホストに対して構成情報を設定します。

例として、下記表を例に、個々の項目でも詳細を記載しながら進めていきます。

ホスト名	SV_01_Linux
ハードウェア情報	PowerEdge860
場所	大阪東データセンター
ソフトウェア情報	Red Hat Enterprise Linux

構成情報を設定する流れは以下となります。



設定が必要な大きい部分（ラックを設定するには場所を先に設定しておく必要がある）から設定をしていきますが、X-MON ではホスト管理の設定にて全ての設定を行う事が出来ます。そのため、まずはホスト管理の設定にて場所やラックの作成もしながらウィザード形式で設定をしていきます。

その後、個々の管理メニューを解説いたします。

[管理者メニュー] – [ホスト・サービス管理] – [構成管理]の中から[ホスト管理]をクリックします。

図 構成管理



X-MON に登録されているホスト一覧が表示されます。

本章では「SV_01_Linux」を例に設定します。該当のホストの[構成情報の編集]をクリックしてください。

図 ホスト一覧

ホスト一覧

ID	名称	操作
Catalyst01	Catalyst01	構成情報の編集
Catalyst02	Catalyst02	構成情報の編集
FW01	FW01	構成情報の編集
Rtx1100	Rtx1100	構成情報の編集
SV_01_Linux	SV_01_Linux	構成情報の編集
SV_02_Linux	SV_02_Linux	構成情報の編集

[構成情報の編集]が表示されます。

図 構成情報の編集



このメニューでホストに対する情報を編集できます。

2.1 ハードウェア情報を設定する

ハードウェア情報を設定するには[構成情報の編集]から「ハードウェア名」欄の[編集]をクリックします。

図 ハードウェア



ハードウェア情報の編集画面となります。

図 ハードウェア情報



入力項目が多数ありますが、**必須なのは「ハードウェア名」「ユニットサイズ」「電源ユニット数」**です。デフォルトではハードウェア名には「ホスト ID」がユニットサイズと電源ユニット数には「1」が入力されている状態となっております。その他の入力項目は必須ではありませんので、入力出来る項目を入力してください。メーカーシリアル番号や管理シリアル番号を入力出来ますので、監視しているホストの情報を X-MON にてすぐ確認する事が出来ます。

入力項目は以下となります。

ホスト ID	ハードウェア情報を編集するホストのホスト ID を表示します。	
ハードウェア名	ホストのハードウェア名を入力します。 入力制限：入力必須、最大文字数 255 文字以下	
ハードウェアメーカー	ホストのハードウェアメーカーを入力します。 入力制限：最大文字数 255 文字以下	
メーカーシリアル番号	ホストのメーカーのシリアル番号を入力します。 入力制限：最大文字数 64 文字以下	
管理用シリアル番号	ホストの管理用のシリアル番号を入力します。 入力制限：最大文字数 64 文字以下	
CPU	ホストの CPU に関する情報を入力します。	
メモリ容量 (MB)	ホストのメモリの容量を入力します。単位は MB (メガバイト) です。 入力制限：半角数字、整数または小数表記	
メモリ備考	ホストのメモリに関する情報を入力します。	
ディスク容量 (GB)	ホストのディスクの容量を入力します。単位は GB (ギガバイト) です。 入力制限：半角数字、整数または小数表記	
ディスク備考	ホストのディスクに関する情報を入力します。	
RAID 構成	ホストの RAID 構成を入力します。	
NIC ポート数	ホストの NIC ポート数を入力します。 入力制限：半角数字	
ネットワーク情報	ホストのネットワーク情報を入力します。 ネットワークインタフェース名、MAC アドレス、IP アドレスをそれぞれ関連付けて登録することができます。各項目は必須項目ではなく、いずれかの項目のみを登録することができます。	
入力欄数	入力する個数を入力します。入力した数に応じて入力欄が表示されます	
ネットワーク 情報入 力欄	ネットワーク インタフェース名	ホストのネットワークインタフェース名を入力します。
	MAC アドレス	ホストの MAC アドレスを入力します。
	IP アドレス	ホストの IP アドレスを入力します。
NIC 備考	ホストの NIC に関する情報を入力します。	

所有者	ホストの所有者を選択します。ここで選択できる所有者は、企業管理にて「所有者」として登録している企業になります。
使用者	ホストの使用者を選択します。 ここで選択できる所有者は、企業管理にて「使用者」として登録している企業になります。
ユニットサイズ	ホストのユニットサイズを入力します。単位はU（ユニット）です。ラックに設置しているホストを表示する際に、この項目で入力した値を用います。 入力制限：半角数字
電源ユニット数	ホストの電源ユニット数を入力します。 入力制限：半角数字
メーカー発表最大電力（W）	メーカーが発表しているホストの最大電力を入力します。単位はW（ワット）です。この項目で入力した値を用いて、電源系統の使用率の計算を行います。 入力制限：半角数字、整数または小数表記
メーカー発表最小電力（W）	メーカーが発表しているホストの最小電力を入力します。単位はW（ワット）です 入力制限：半角数字、整数または小数表記
計測最大電力（W）	ホストの計測最大電力を入力します。 単位はW（ワット）です。 入力制限：半角数字、整数または小数表記
計測最小電力（W）	ホストの計測最小電力を入力します。 単位はW（ワット）です。 入力制限：半角数字、整数または小数表記
電源	ホストの電源を 100V もしくは 200V で選択します。
保守情報	ホストの保守に関する情報を入力します
購入日時	ホストの購入日時を入力します。 入力制限：日付形式（yyyy/mm/dd）
保守期限	ホストの保守期限を入力します。 入力制限：日付形式（yyyy/mm/dd）

ネットワーク情報は「NIC ポート数」とネットワークインタフェース情報の「入力欄数」を入力すると入力欄が表示されます。

図 左) 入力していない状態 右) 入力した状態



入力が出来たら[編集と承認]をクリックします。

図 編集と承認



クリックすると構成情報の編集の画面に戻り、「設定を変更し反映しました。」と表示されます。

これでハードウェア情報の設定は完了です。

図 反映後



2.1.1 新しく企業を登録する

ハードウェア情報設定の際に新しく企業を登録する事が出来ます。

企業は所有者、使用者にて選択出来るようになります。

*ハードウェアメーカーは入力方式のため、企業を新しく追加したものを使用する事はできません

ハードウェア編集画面の一番下にある[新しい企業を登録する]をクリックします。

図 新しい企業を登録する



企業の作成の画面が表示されます。

入力項目については、[3.企業管理について](#) をご参照ください。

図 企業の作成

企業の作成

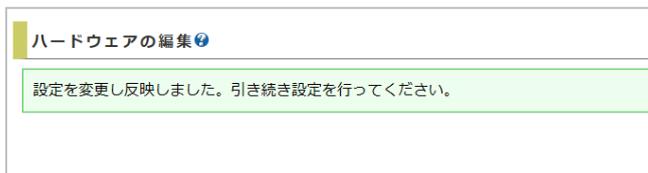
名称
住所
電話番号
FAX番号
タイプ
所有者
使用者
備考

ハードウェア情報の編集へ戻る メニューへ戻る 作成と承認

ここで入力して作成する場合は[作成と承認]をクリックしてください。

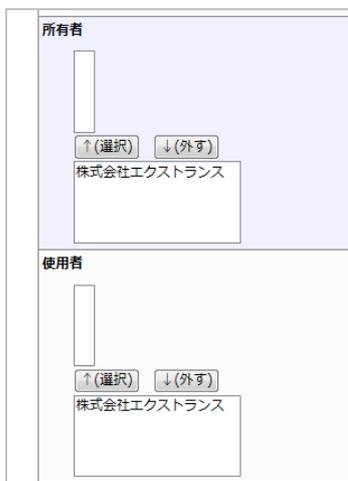
企業が作成され、先ほどのハードウェア編集の画面に戻り、「設定を変更し反映しました。引き続き設定を行ってください。」と表示されます。

図 作成後



新しく作成した企業は、所有者もしくは使用者の欄にて選択出来るようになっております。

図 追加後



これで、先に企業管理で新しく企業を登録していなくても、ハードウェア情報を設定する際に登録出来ますので便利にご活用頂けます。

2.2 場所を設定する

場所の設定は、「場所」「ラック」「電源系統」の3つを順番に設定します。

どれか1つだけを設定する事は出来ません。

それぞれ、独立した管理メニューにて新規に作成していなくても、設定時に新規に作成する事が出来ます。

本章では、それぞれ作成しながら設定をしていきます。

ホストを設置している場所を設定するには[構成情報の編集]から「場所」欄の[編集]をクリックします。

図 ハードウェア



場所管理にて場所が登録されていない場合は下記のように「場所情報が登録されていません。設置場所情報を編集する前に場所情報を登録してください。」と表示されます。

図 場所情報がない場合



新規作成のショートカットとして、[新しく場所を登録する]がありますのでクリックします。

場所の作成の画面が表示されます。

図 場所の作成



名称は必須項目となっております。その他の入力項目については、[4.場所管理について](#)をご参照ください。

ここで入力して作成する場合は[作成と承認]をクリックしてください。

図 作成と承認



場所が作成され、先ほどの場所の選択の画面に戻り、「設定を変更し反映しました。引き続き設定を行ってください。」と表示されます。

新しく作成した場所は、ホストに設定する事が出来るようになります。

これで、先に場所管理で新しく場所を登録していなくても、便利にご活用頂けます。

図 場所追加後



次にラックの設定を行いますので、[ラックの設定へ進む]をクリックしてください。

2.3 ラックを設定する

ホストを設置しているラックを設定します。

ラック管理にてラックが登録されていない場合は、下記のように「ラック情報が登録されていません。ラック位置情報を編集する前にラック情報を登録してください。」と表示されます。

図 ラック情報がない場合



新規作成のショートカットとして、[新しいラックを登録する]がありますのでクリックします。

ラックの作成の画面が表示されます。

図 ラックの作成

ラックの作成

名称
3F-A-10

アイコン
ラック1

ラック設置場所
大阪東データセンター

ユニット数
42

「名称」と「ユニット数」は必須項目となっております。その他の入力項目については、[5.ラック管理について](#) をご参照ください。

また、ホストの場所については設定を前の画面で行っているため、「ラック設置場所」は選択した場所が既に入力された状態となります。

ここで入力して作成する場合は[作成と承認]をクリックしてください。

図 作成と承認

← ラック位置情報の編集へ戻る

← メニューへ戻る

🔄 作成と承認

ラックが作成され、先ほどの画面に戻り、「設定を変更し反映しました。引き続き設定を行ってください。」と表示されます。

図 ラック追加後

設置ラックの選択

設定を変更し反映しました。引き続き設定を行ってください。

ホストID
SV_01_Linux

場所
大阪東データセンター

ラック
3F-A-10

機器設置位置

ユニット番号	設置機器	設置
1		ここに設置

ラック作成時に指定したユニット数に応じて「機器設置位置」にユニット番号が表示されています。

設置しているユニット番号の段の[ここに設置]をクリックすると、機器が設置されます。

図 機器設置位置

ユニット番号	設置機器	設置
1		+ ここに設置
2		+ ここに設置
3		+ ここに設置
4		+ ここに設置

ユニット番号	設置機器	設置
1		+ ここに設置
2		+ ここに設置
3	SV_01_Linux	* 取り外す
4		+ ここに設置

これでラックへの設置は完了です。次に電源の設定をしますので、[電源の設定へ進む]をクリックします。

図 電源の設定へ進む



2.4 電源システムを設定する

ホストが接続する電源システムを設定します。ハードウェア情報にてメーカー発表最大電力が入力されていると、紐付くことで電源の使用量が確認できます。

電源システム管理に電源システムが登録されていない場合は、下記のように電源システムが「なし」と表示されます。

図 電源システム

電源システムの選択

ホストID: SV_01_Linux

場所: 大阪東データセンター

ラック: 3F-A-10

電源システム: 1: -- なし --

← ラック情報の編集へ戻る ← メニューへ戻る + 新しい電源システムを登録する 編集と承認

電源システムが不明な場合は、このまま「なし」のままで[編集と承認]を押して頂くと電源システムは設定せずに場所の設定を完了できます。

今回は新規に電源システムを作成しますので、「新しい電源システムを登録する」をクリックしてください。

電源システムの作成の画面が表示されます。

図 電源システムの作成

名称	電源1
電源設置場所	大阪東データセンター
電源容量(W)	20

← 電源システムの選択へ戻る ← メニューへ戻る 作成と承認

「名称」と「電源容量」を入力してください。

また、ホストの場所については設定を前の画面で行っているため、「電源設置場所」は選択した場所が既に入力された状態となります

入力が出来たら[作成と承認]をクリックしてください。

電源システムが作成され、先ほどの電源の選択の画面に戻り、「設定を変更し反映しました。引き続き設定を行ってください。」と表示されます。

図 電源システム追加後

設定を変更し反映しました。引き続き設定を行ってください。

ホストID	SV_01_Linux
場所	大阪東データセンター
ラック	3F-A-10
電源システム	1: 電源1

← ラック情報の編集へ戻る ← メニューへ戻る 緑 新しい電源システムを登録する 編集と承認

電源システムを作成した電源を選択して、[作成と承認]をクリックしてください。

構成情報の編集の画面に戻り、「設定を変更し反映しました。」を表示されます。

これでホストへの場所の設定は全て完了となります。

図 設定完了後



2.5 ソフトウェア情報を設定する

ソフトウェア情報を設定するには[構成情報の編集]から[ソフトウェア情報の新規作成]をクリックします。

図 構成情報の編集



ソフトウェアの作成画面が表示されます。

図 ソフトウェア作成

入力項目は以下となります。

ホスト ID	ソフトウェア情報を登録するホストのホスト ID を表示します。
名称	登録するソフトウェアの名称を入力します。 入力制限：入力必須、最大文字数 255 文字以下、同ホストで重複する名称の登録不可
管理用シリアル番号	登録するソフトウェアの管理用のシリアル番号を入力します。 入力制限：最大文字数 64 文字以下
メーカーシリアル番号	登録するソフトウェアのメーカーシリアル番号を入力します。 入力制限：最大文字数 64 文字以下
所有者	登録するソフトウェアの所有者を選択します。ここで選択できる所有者は、企業管理にて「所有者」として登録している企業になります。
備考	登録するソフトウェアに関する情報を入力します。

企業を登録していない場合は、本画面の「新しい企業を登録する」からでも企業の登録が可能です。今回は下記のように入力します。

図 入力例

ソフトウェアの作成

ホストID	SV_01_Linux
名称	Red Hat Enterprise Linux
管理用シリアル番号	SFT001
メーカーシリアル番号	AAA-00-BBB
所有者	株式会社エクストランス
備考	1年ごとに更新が必要

キャンセル 新しい企業を登録する **作成と承認**

入力が出来たら[作成と承認]をクリックしてください。

図 作成後

構成情報の編集

設定を変更し反映しました。

ハードウェア名	PowerEdge860	編集
場所	大阪東データセンター	編集
ソフトウェア名	<input type="checkbox"/> Red Hat Enterprise Linux	編集

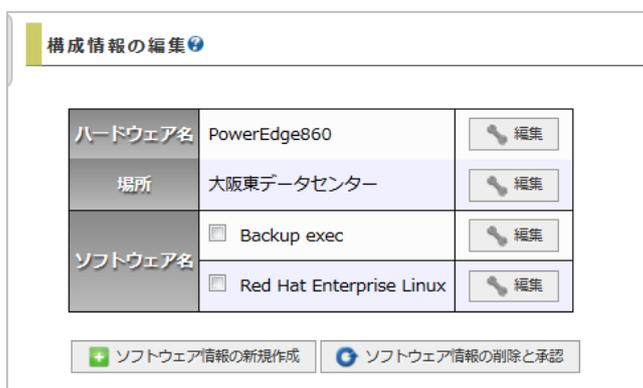
ソフトウェア情報の新規作成 ソフトウェア情報の削除と承認

「設定を変更し反映しました。」と表示され、ソフトウェア欄に作成したソフトウェアの名称が表示されます。

これでソフトウェア情報の設定は完了です。

ソフトウェアは1つのホストに対して複数個設定が可能です。

図 複数



複数設定する際は新規作成をその分行う必要があります。

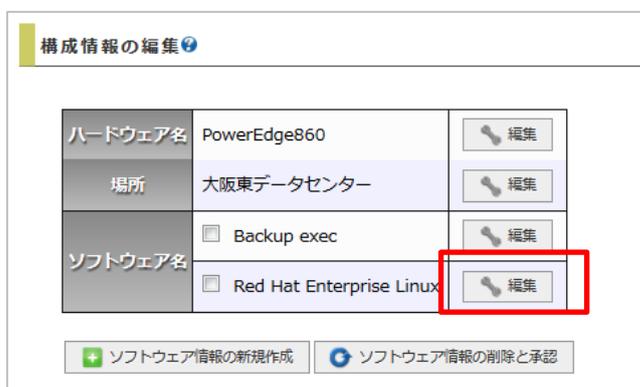
また、ホストに対して紐付けられるため、複数のホストに対して一括での設定や、ソフトウェア情報をコピーして設定する事は出来ませんのでご了承ください。

ソフトウェアの名称など、1つ1つ設定が必要となります。

2.5.1 ソフトウェア情報を編集する

ソフトウェアの情報を編集するには[構成情報の編集]から該当のソフトウェアの[編集]をクリックします。

図 複数



ソフトウェアの編集画面になりますので、編集する項目を編集してください。

図 ソフトウェアの編集

ソフトウェアの編集

ホストID	SV_01_Linux
名称	Red Hat Enterprise Linux

編集が出来たら[編集と承認]をクリックします。

図 編集と承認

キャンセル 新しい企業を登録する **編集と承認**

構成情報の編集の画面に戻り、「設定を変更し、反映しました。」を表示されます。

図 変更後

構成情報の編集

設定を変更し反映しました。

ハードウェア名	PowerEdge860	編集
場所	大阪東データセンター	編集
ソフトウェア名	<input type="checkbox"/> Backup exec	編集
	<input type="checkbox"/> Red Hat Enterprise Linux	編集

ソフトウェア情報の新規作成 ソフトウェア情報の削除と承認

これで編集は完了です。

2.5.2 ソフトウェア情報を削除する

ソフトウェアの情報を削除するには[構成情報の編集]から該当のソフトウェアのチェックボックスにチェックを入れて、[ソフトウェア情報の削除と承認]をクリックします。

図 削除

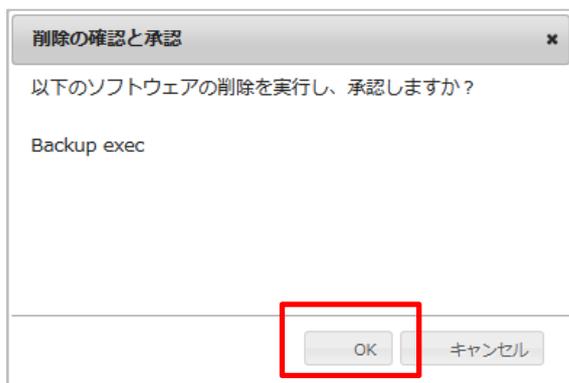
構成情報の編集

ハードウェア名	PowerEdge860	編集
場所	大阪東データセンター	編集
ソフトウェア名	<input checked="" type="checkbox"/> Backup exec	編集
	<input type="checkbox"/> Red Hat Enterprise Linux	編集

ソフトウェア情報の新規作成 **ソフトウェア情報の削除と承認**

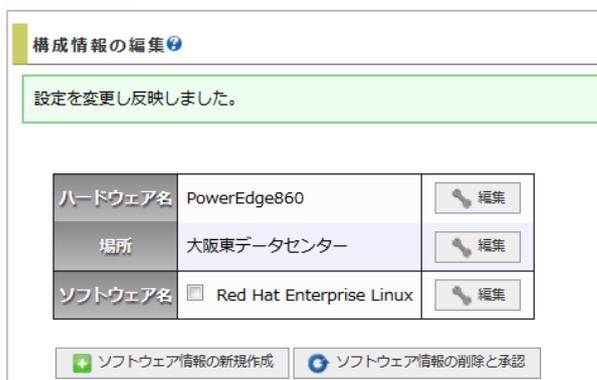
確認画面が表示されますので、内容がOKでしたらOKをクリックしてください。

図 削除の確認



構成情報の編集画面に戻り、「設定を変更し反映しました。」と表示されます。

図 削除後



これでソフトウェア情報の削除は完了です。

2.6 設定した構成情報を確認する

ホストに設定した構成情報を確認するには、ホスト一覧、もしくはサービス一覧より該当のホストのホスト情報を表示します。

図 ホスト一覧



ホスト情報の画面の「構成情報」タブを開くと、構成情報で登録した情報が表示されます。保守情報、場所情報や電源情報が表示されます。

ハードウェアやソフトウェアなどリンクになっている部分をクリックすると、登録した情報が別ウィンドウで表示されます、

図 構成情報

The screenshot displays the X-MON interface for host configuration management. The main window shows a summary of the host's configuration, including hardware details (PowerEdge860, Red Hat Enterprise Linux), hardware maintenance information (PowerEdge860, QWER0001, 2013年08月31日), location information (大阪東データセンター, 3F-A-10), and power information (電源1, 20 W, 5%). A detailed hardware specification window is open, showing fields like Hardware Name, Manufacturer (Dell), Serial Number, CPU (Xeon X3440), Memory (2048 MB), Disk Capacity (72 GB), and RAID configuration. A power information window is also open, showing a table of units and their status.

ハードウェア名	PowerEdge860
ハードウェアメーカー	Dell
メーカーシリアル番号	QWER0001
管理用シリアル番号	ZXCV1011
CPU	Xeon X3440
メモリ容量	2048 MB
メモリ備考	
2012/12 slot1 メモリ交換	
ディスク容量	72 GB
ディスク備考	
SAS	
RAID構成	1
NIC備考	
intelNIC	

電源情報	
● 電源1 20 W 5%	
ユニット番号	設置機器
1	-- 空き --
2	-- 空き --
3	● SV_01_Linux(SV_01_Linux)
4	-- 空き --
5	-- 空き --
6	-- 空き --
7	-- 空き --
8	-- 空き --
9	-- 空き --
10	-- 空き --
11	-- 空き --

このようにホストの構成情報を X-MON に登録する事により、運用管理において必要な場面ですぐ活用する事が出来るようになりますので是非ご活用ください。

また、構成情報の画面では構成情報へのリンクもあります。

図 リンク

The screenshot shows a list of links for host configuration information. The links are: 構成情報を検出する, 構成情報を編集する (highlighted with a red box), and 過去の構成情報を参照する.

[構成情報を編集する]をクリックすると、対象ホストの構成情報の編集画面が表示されますので編集が必要な場合はご利用ください。

図 構成情報の編集

構成情報の編集

ハードウェア名	PowerEdge860	編集
場所	大阪東データセンター	編集
ソフトウェア名	<input type="checkbox"/> Red Hat Enterprise Linux	編集

[構成情報を検出する]はSNMPを用いて構成情報を登録します。
詳細は [7.SNMPを用いて構成情報を取得する](#) をご参照ください。

[過去の構成情報を参照する]は構成情報の変更履歴を確認する事が出来ます。
詳細は [8.構成情報の変更履歴を確認する](#) をご参照ください。

3 企業管理について

企業管理では、ホスト管理において所有者・使用者に紐付する企業を登録する事が出来ます。

図 企業管理



3.1 新しく企業を登録する

新しく企業を登録するには、[管理者メニュー] – [ホスト・サービス管理] – [構成管理]を開き[企業管理]をクリックします。

企業一覧が表示されます。1つも企業が登録されていない場合は何も表示されませんので、左上の[新規作成]をクリックします。

図 企業一覧

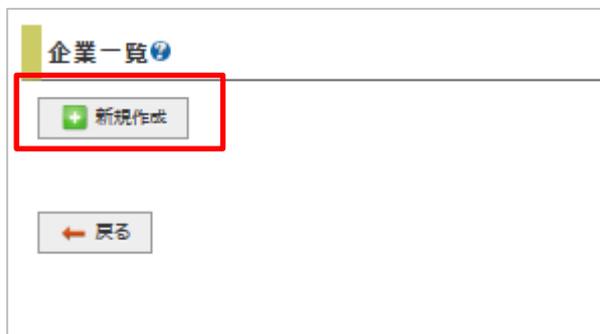


図 企業の作成

The screenshot shows a web form titled '企業の作成' (Enterprise Creation). It contains the following sections:

- 名称** (Name): A text input field with a yellow dashed box and an arrow pointing to it, labeled '必須項目' (Required Item).
- 住所** (Address): A text input field.
- 電話番号** (Phone Number): A text input field.
- FAX番号** (FAX Number): A text input field.
- タイプ** (Type): Two checkboxes, '所有者' (Owner) and '使用者' (User).
- 備考** (Remarks): A large text area for additional information.

At the bottom of the form, there are two buttons: 'キャンセル' (Cancel) and '作成と承認' (Create and Approve).

入力項目は以下となります。

名称	登録する企業の名称を入力します。 入力制限：入力必須、最大文字数 255 文字以下、重複する名称の登録不可
住所	登録する企業の住所を入力します。 入力制限：最大文字数 255 文字以下
電話番号	登録する企業の電話番号を入力します。 入力制限：最大文字数 13 文字以下
FAX 番号	登録する企業の FAX 番号を入力します。 入力制限：最大文字数 13 文字以下
タイプ	登録する企業のタイプを選択します。 登録する企業がホストやソフトウェアの所有者となる場合は「所有者」にチェックを入れます。登録する企業がホストの利用者となる場合は「使用者」にチェックを入れます。どちらにもなり得る場合は、両方のタイプにチェックを入れる必要があります。 入力制限：どちらか 1 つ入力必須
備考	登録する企業に関する情報を入力します。

図 入力例

企業の作成

名称
株式会社エクストランス

住所
大阪市西区〇-〇〇-〇

電話番号
06-0000-0000

FAX番号
06-0000-0000

タイプ
所有者
使用者

備考
最寄駅：大阪市営地下鉄〇〇駅

キャンセル 作成と承認

入力出来たら[作成と承認]をクリックします。

企業一覧の画面に戻り、「設定を追加し反映しました。」と表示され、追加した企業が表示されていることを確認します。

図 登録後

企業一覧

設定を追加し反映しました。

新規作成 削除と承認

企業名	操作
<input type="checkbox"/> 株式会社エクストランス	編集

戻る 削除と承認

以上で企業の登録は完了です。

3.2 企業の情報を編集する

登録している企業の情報を編集するには、企業一覧の画面にて、該当企業の欄の[編集]をクリックします。

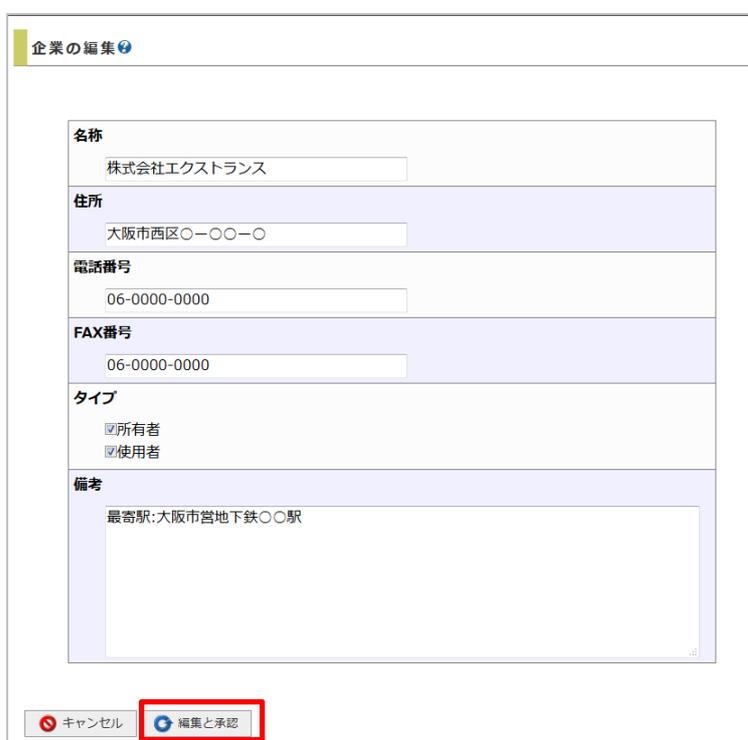
図 企業一覧



企業名	操作
株式会社エクストランス	編集

編集画面が表示されますので、編集する項目を編集してください。

図 企業の編集



編集が出来たら[編集と承認]をクリックしてください。

企業一覧の画面に戻り、「設定を変更し反映しました。」と表示されます。

図 編集後



企業名	操作
株式会社エクストランス	編集

以上で編集は完了です。

3.3 企業を削除する

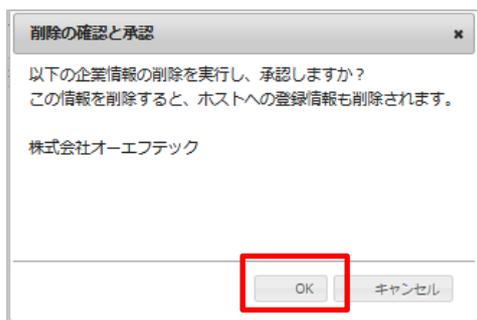
登録している企業の情報を削除するには、企業一覧の画面にて、該当企業の欄のチェックボックスにチェックを入れて、[削除と承認]をクリックします。

図 企業一覧



確認画面が表示されますので、問題なければ OK をクリックしてください。

図 削除確認



OK をクリックすると、削除が行われ企業一覧の画面に戻ります。

「設定を削除し反映しました。」と表示され、削除が完了です。



3.4 企業情報を確認する

企業情報はホスト管理のハードウェア情報設定時に使用されます。

ハードウェアの編集画面の「所有者」もしくは「使用者」に登録した企業が表示されますので、確認が出来ます。

図 企業情報の確認

The image shows a screenshot of a web application interface for managing company information. It is divided into two main sections: '所有者' (Owner) and '使用者' (User). Each section contains a vertical scrollbar on the left, two buttons labeled '↑(選択)' (Select) and '↓(外す)' (Remove), and a text input field containing the text '株式会社エクストランス' (Kabushiki Kaisha Ekusutoransu).

所有者

↑(選択) ↓(外す)

株式会社エクストランス

使用者

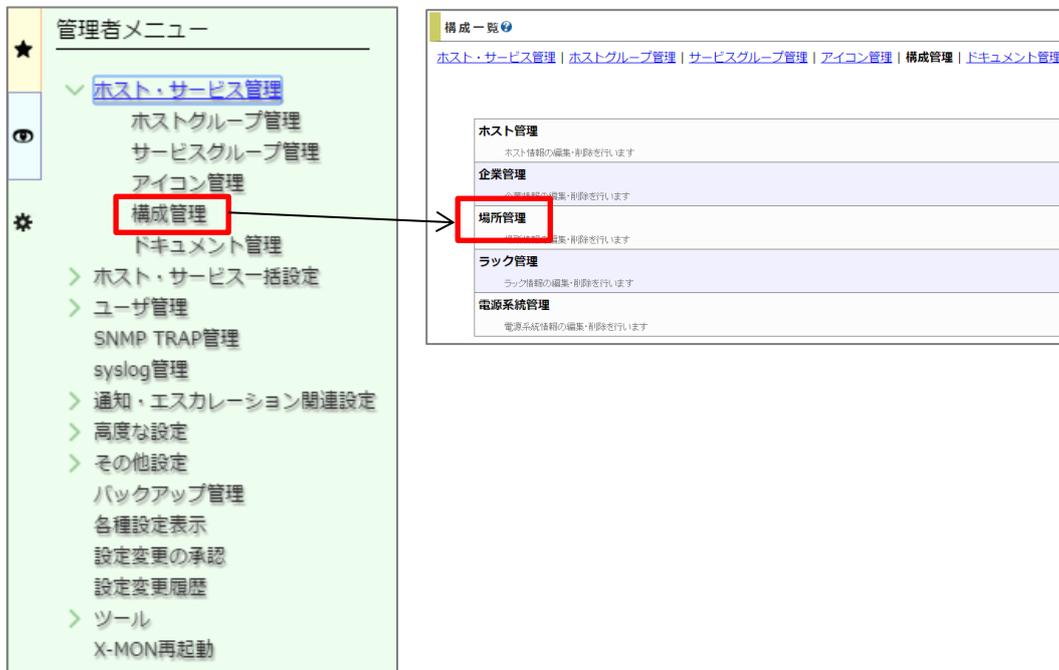
↑(選択) ↓(外す)

株式会社エクストランス

4 場所管理について

場所管理ではホスト管理においてホストに紐付ける設置場所を設定します。

図 場所管理



4.1 新しく場所を登録する

新しく場所を登録するには、[管理者メニュー] - [ホスト・サービス管理] - [構成管理]を開き[場所管理]をクリックします。

場所一覧が表示されます。1つも場所が登録されていない場合は何も表示されませんので、左上の[新規作成]をクリックします。

図 場所一覧



場所の作成の画面が表示されます。

図 場所の作成

入力項目は以下となります。

名称	登録する場所の名称を入力します。 入力制限：入力必須、最大文字数 255 文字以下、重複する名称の登録不可
アイコン	登録する場所のアイコン画像を選択します。このアイコンはロケーションマップの表示に使用されます。
住所	登録する設置場所の住所を入力します。 入力制限：最大文字数 255 文字以下
電話番号	登録する設置場所の電話番号を入力します。 入力制限：最大文字数 13 文字以下

FAX 番号	登録する設置場所の FAX 番号を入力します。 入力制限：最大文字数 13 文字以下
入館手順	入館に関する手順を入力します。
備考	登録する場所に関する情報を入力します。
場所に関連付けるドキュメント	登録する場所に関連付けるドキュメントを選択します。ドキュメント管理 - ドキュメントの作成、編集から登録したドキュメントのうち「場所・ラックに関連付けるドキュメント」を設定したドキュメントが選択できます。

図 入力例

場所の作成

名称
大阪東データセンター

アイコン
ビル1

住所
大阪府東大阪市〇〇-〇〇-〇〇

電話番号
06-0000-0000

FAX番号
06-0000-0000

入館手順
前日まではWebから申請。
当日はFAXおよび電話で申請する

備考
21時から6時までに入館する場合は裏門から警備員を經由で入館する

場所に関連付けるドキュメント
大阪東データセンター入館申請フォーマット

↑(選択) ↓(外す)

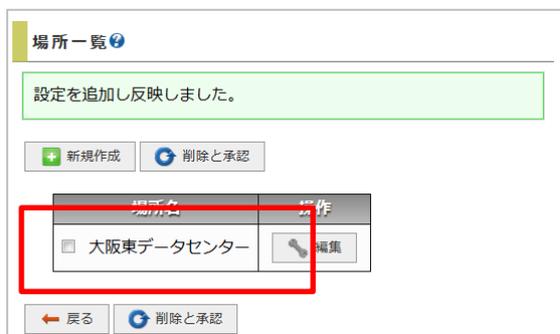
キャンセル 作成と承認

入力出来たら[作成と承認]をクリックします。

場所一覧の画面に戻り、「設定を追加し反映しました。」と表示され、追加した場所が表

示されていることを確認します。

図 追加後



以上で場所の登録は完了です。

場所をホストに紐付するには [2.2 場所を設定する](#) をご参照ください。

4.2 場所の情報を編集する

登録している場所の情報を編集するには、場所一覧の画面にて、該当場所の欄の[編集]をクリックします。

図 場所一覧



編集画面が表示されますので、編集する項目を編集してください。

図 場所の編集



編集が出来たら[編集と承認]をクリックしてください。

図 編集と承認



場所一覧の画面に戻り、「設定を変更し反映しました。」と表示されます。

図 編集後



以上で編集は完了です。

4.3 場所を削除する

登録している場所の情報を削除するには、場所一覧の画面にて、該当場所の欄のチェックボックスにチェックを入れて、[削除と承認]をクリックします。

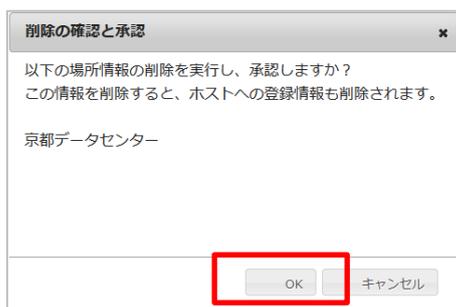
図 削除



⚠️ 注意点として、場所を削除すると場所に紐付されているホスト登録情報も削除されます。また、場所に紐付されているラック情報、電源系統情報も削除されますのでご注意ください。

削除の確認が表示されますので、内容がOKでしたらOKをクリックしてください。

図 削除の確認



OK をクリックすると、削除が行われ場所一覧の画面に戻ります。

「設定を削除し反映しました。」と表示され、削除が完了です。

図 削除後



以上で削除は完了です。

4.4 場所の情報を確認する

登録した場所情報はホスト管理にてホストに紐付けされます。

紐付けされると、ホスト情報の構成情報画面、マップのロケーションマップにて場所の確認をする事が出来ます。

4.4.1 ホスト情報の構成情報

ホストに設定した場所情報を確認するには、ホスト一覧、もしくはサービス一覧より該当のホストのホスト情報を表示します。

図 ホスト一覧



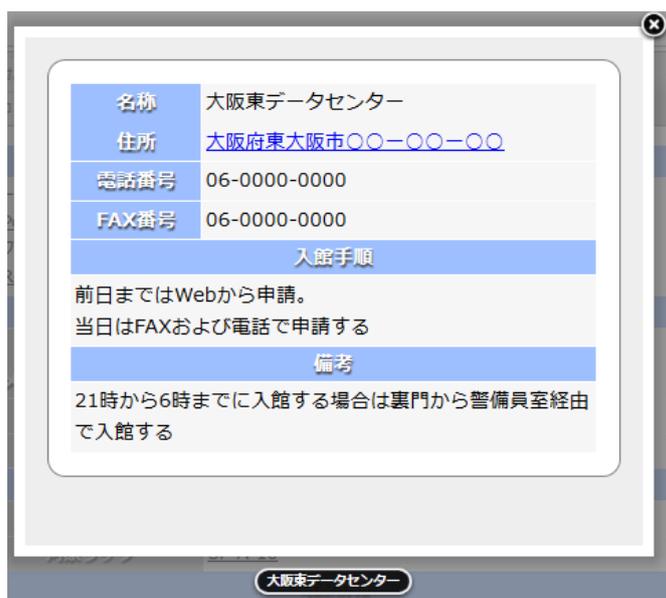
ホスト情報の画面の「構成情報」タブを開くと、構成情報で登録した情報が表示されます。保守情報、場所情報や電源情報が表示されます。

図 ホスト情報



「場所情報」欄に場所の情報がリンクで表示されますのでクリックします。

図 場所情報



別画面で、登録した内容が表示されます。

現地対応が必要になった場合など、この情報を元にスムーズに対応、手続きをすることが出来ます。

4.4.2 ロケーションマップ

[監視メニュー]の[マップ]の中に[ロケーションマップ]のメニューがあります。

これは場所ごとにホストを表示する機能です。

X-MON3.0.8以降の「ビジュアルマップ機能」は別途マニュアルをご参照ください。

図 ロケーションマップ



このように場所が表示されます。場所のアイコンをクリックしていくと、場所に登録されているラックが表示されますので、表示させるラックをクリックします。

図 ラックの選択



ラックの図面と、場所情報が表示されます。

図 ラック表示



ここで、場所情報部分の[詳細]をクリックすると、場所の詳細が表示されます。

図 ロケーションマップ

ロケーションマップ

ネットワークマップ ツリー表示 | ネットワークマップ ドリルダウン表示 | ロケーションマップ

大阪東データセンター
3F-A-10
大阪府東大阪市〇〇-〇〇-〇〇
TEL: 06-0000-0000
FAX: 06-0000-0000

入館手順
前日まではWebから申請。当日はFAXおよび電話で申請する

備考
21時から6時までに入館する場合は裏門から警備員室経由で入館する

閉じる▲

関連ドキュメント
大阪東データセンター入館申請フォーマット(0.00 B)

1		Catalyst01 (Catalyst01)
2		Catalyst02 (Catalyst02)
3		SV_01_Linux (SV_01_Linux)
4		SV_02_Linux (SV_02_Linux)
5		FW01 (FW01)

戻る

マップからホストを確認する際にご活用ください。

5 ラック管理について

ラック管理ではホスト管理においてホストに紐付けるラックを設定します。

ラックを登録するには先に場所を登録しておく必要があります。

図 場所管理



5.1 新しくラックを登録する

新しくラックを登録するには、[管理者メニュー] - [ホスト・サービス管理] - [構成管理]を開き [ラック管理]をクリックします。

ラック一覧が表示されます。1つもラックが登録されていない場合は何も表示されませんので、左上の[新規作成]をクリックします。

図 ラック一覧



ラック作成画面が表示されます。

図 ラックの作成

入力項目は以下となります。

名称	登録するラックの名称を入力します。 入力制限：入力必須、最大文字数 255 文字以下、重複する名称の登録不可
アイコン	登録するラックのアイコン画像を選択します。このアイコンはロケーションマップの表示に使用されます。
ラック設置場所	登録するラックの設置場所を選択します。場所情報が登録されていない場合、登録できません。先に構成管理・場所管理場所の作成、編集より登録を行う必要があります。

ユニット数	登録するユニット数を入力します。
ユニット番号順	登録するラックを表示する際に振られる番号の表示を選択します。
ラックに関連付けるドキュメント	登録するラックに関連付けるドキュメントを選択します。ドキュメント管理・ドキュメントの作成、編集から登録したドキュメントのうち「場所・ラックに関連付けるドキュメント」を設定したドキュメントが選択できます。

図 入力例

入力出来たら[作成と承認]をクリックします。

ラック一覧の画面に戻り、「設定を追加し反映しました。」と表示され、追加したラックが表示されていることを確認します。

図 追加後



以上でラックの登録は完了です。

ラックをホストに紐付するには [2.3 ラックを設定する](#) をご参照ください。

5.2 ラックの情報を編集する

登録しているラックの情報を編集するには、ラック一覧の画面にて、該当ラックの欄の[編集]をクリックします。

図 ラック一覧



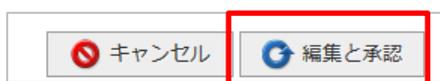
編集画面が表示されますので、編集する項目を編集してください。

 ユニット数は表示が崩れる可能性がありますので変更しないようお願いします。

図 場所の編集

編集が出来たら[編集と承認]をクリックしてください。

図 編集と承認



ラック一覧の画面に戻り、「設定を変更し反映しました。」と表示されます。

図 編集後



以上で編集は完了です。

5.3 ラックを削除する

登録しているラックの情報を削除するには、ラック一覧の画面にて、該当ラックの欄のチェックボックスにチェックを入れて、[削除と承認]をクリックします。

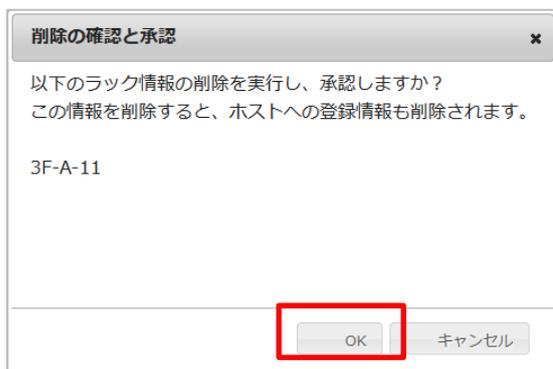
図 削除



ラック情報そのものが削除されますので、Host管理にて設定したラックへの紐付も削除されますのでご注意ください。

削除の確認が表示されますので、内容がOKでしたらOKをクリックしてください。

図 削除の確認



OK をクリックすると、削除が行われラック一覧の画面に戻ります。

「設定を削除し反映しました。」と表示され、削除が完了です。

図 削除後



5.4 ラックの情報を確認する

登録したラック情報はホスト管理にてホストに紐付けされます。

紐付けされると、ホスト情報の構成情報画面、マップのロケーションマップにて場所の確認をする事が出来ます。

5.4.1 ホスト情報の構成情報

ホストに設定したラック情報を確認するには、ホスト一覧、もしくはサービス一覧より該当のホストのホスト情報を表示します。

図 ホスト一覧



ホスト情報の画面の「構成情報」タブを開くと、構成情報で登録した情報が表示されます。保守情報、場所情報や電源情報が表示されます。

図 ホスト情報



「場所情報」欄にラックの情報がリンクで表示されますのでクリックします。

図 ラック図



別画面で、登録した内容が表示されます。

現地対応が必要になった場合など、この情報を元にスムーズに対応、手続きをすることが出来ます。

また、「データセンター設置ラック」には同じ場所に設置されている他のラックも確認することが出来ますので、ご活用ください。

5.4.2 ロケーションマップ

[監視メニュー]の[マップ]の中に[ロケーションマップ]のメニューがあります。

これは場所ごとにホストを表示する機能です。

X-MON3.0.8以降の「ビジュアルマップ機能」は別途マニュアルをご参照ください。

図 ロケーションマップ



このように場所が表示されます。場所のアイコンをクリックしていくと、場所に登録されているラックが表示されますので、表示させるラックをクリックします。

図 ラックの選択



ラックの図面と、場所情報が表示されます。

図 ラック表示



マップを元に確認される際にご活用ください。

6 電源システム管理について

電源システム管理ではホスト管理においてホストに紐付ける電源システムを設定します。

電源システムを登録するには先に場所を登録しておく必要があります。

ホスト管理のハードウェア情報にてメーカー発表最大電力を入力していると、電源システムでどれだけ使用しているかを X-MON で表示する事が出来ます。

図 場所管理



6.1 新しく電源システムを登録する

新しく電源システムを登録するには、[管理者メニュー] - [電源システム管理] をクリックします。電源システム一覧が表示されます。1つも電源システムが登録されていない場合は何も表示されませんので、左上の[新規作成] をクリックします。

図 電源システム一覧



電源システム作成画面が表示されます。

図 電源システムの作成

入力項目は以下となります。全て必須となります。

名称	登録する電源系統の名称を入力します。 入力制限：入力必須、最大文字数 255 文字以下、重複する名称の登録不可
電源設置場所	登録する電源系統の設置場所を選択します。場所情報が登録されていない場合、登録できません。先に構成管理 - 場所管理 場所の作成、編集より登録を行う必要があります。
電源容量(W)	登録する電源系統の電源容量を入力します。 単位はW（ワット）です。 入力制限：入力必須、半角数字

図 入力例

入力出来たら[作成と承認]をクリックします。

電源系統一覧の画面に戻り、「設定を追加し反映しました。」と表示され、追加した電源系統が表示されていることを確認します。

図 追加後



以上で電源系統の登録は完了です。

電源系統をホストに紐付するには [2.4 電源系統を設定する](#) をご参照ください。

6.2 電源系統の情報を編集する

登録している電源系統の情報を編集するには、電源系統一覧の画面にて、該当電源系統の欄の[編集]をクリックします。

図 電源系統一覧



編集画面が表示されますので、編集する項目を編集してください

図 編集



編集が出来たら[編集と承認]をクリックしてください。

電源系統一覧の画面に戻り、「設定を変更し反映しました。」と表示されます。

図 編集後



以上で編集は完了です。

6.3 電源系統を削除する

登録している電源系統の情報を削除するには、電源系統一覧の画面にて、該当電源系統の欄のチェックボックスにチェックを入れて、[削除と承認]をクリックします。

図 削除



削除の確認が表示されますので、内容がOKでしたらOKをクリックしてください。

図 削除の確認



OK をクリックすると、削除が行われ電源系統一覧の画面に戻ります。

「設定を削除し反映しました。」と表示され、削除が完了です。

図 削除後



6.4 電源系統（使用量）を確認する

登録した電源系統はホスト管理にてホストに紐付けされます。

ホスト管理のハードウェア情報にてメーカー発表最大電力を入力していると、構成情報画面にて電源の使用量を確認する事が出来ます。

ホストに設定した電源情報を確認するには、ホスト一覧、もしくはサービス一覧より該当のホストのホスト情報を表示します。

図 ホスト一覧



ホスト情報の画面の「構成情報」タブを開くと、構成情報で登録した情報が表示されます。保守情報、場所情報や電源情報が表示されます。

図 ホスト情報



「電源情報」にて、電源がどれだけ使用しているかをパーセントにて表示されます。

また、「対象ラック」にてラック情報を表示させた時も表示されます。

図 ラック図

電源情報	
● 電源A-1	20 W 5%

ユニット番号	設置機器
1	● Catalyst01(Catalyst01)
2	● Catalyst02(Catalyst02)
3	● SV_01 Linux(SV_01 Linux)
4	● SV_02 Linux(SV_02 Linux)
5	● FW01(FW01)
6	-- 空き --
7	-- 空き --
8	-- 空き --

これにより、電源使用量が明示的にわかりますので、ラックへの機器増設時に資料としてご活用頂けます。

7 SNMP を用いて構成情報を取得する

[2.1 ハードウェア情報を設定する](#)では手動でハードウェア情報を入力しましたが、ホストに SNMP 認証設定を行っている場合は SNMP を用いて構成情報を取得し、構成情報として登録する事が出来ます。

SNMP を用いてハードウェア情報を取得する事により、入力する手間が省けます。

機器への X-MON からの SNMP 通信の許可や、ネットワーク機器への SNMP の設定方法は別途ネットワーク機器設定リファレンスをご参照ください。

7.1 ホスト登録時の SNMP 設定

SNMP を用いて構成情報を取得するにはホスト登録時（編集でも登録出来ます）に SNMP 認証設定を登録してください。

図 SNMP 認証設定



7.2 OID の確認

取得する構成情報は X-MON から OID を用いて取得します。

機器やファームウェアによっては取得する OID に対応していない場合がございます。

全ての OID が取得できなくても、取得出来た分だけを登録する事が出来ます。

各種情報を取得する OID は以下となります。

7.2.1 ネットワーク情報

ネットワーク情報では、ホストのネットワーク情報を表示します。

ネットワーク情報を検出する為に、以下の OID が取得できる必要があります。

IP アドレス	.1.3.6.1.2.1.4.20.1.1
MAC アドレス	.1.3.6.1.2.1.2.2.1.6
インタフェース名	.1.3.6.1.2.1.2.2.1.2
インタフェースインデックス	.1.3.6.1.2.1.4.20.1.2
インタフェースの稼働状態	.1.3.6.1.2.1.2.2.1.8

7.2.2 ハードウェア情報

ハードウェア名、ハードウェアメーカー では、ホストのハードウェア名とハードウェアメーカーを表示します。ハードウェア情報を検出する為に、以下の OID のうち、いずれかが取得できる必要があります。

YAMAHA CORPORATION	.1.3.6.1.4.1.1182.2.2.3.0
Dell Inc.	.1.3.6.1.4.1.674.10892.1.300.10.1.9.1
Juniper Networks, Inc.	.1.3.6.1.4.1.2636.3.1.2.0
Cisco Systems, Inc.	.1.3.6.1.2.1.47.1.1.1.1.13

CPU では、ホストの CPU 情報を表示します。

CPU 情報を検出する為に、以下の OID が取得できる必要があります。

デバイスの種類	.1.3.6.1.2.1.25.3.2.1.2
デバイスの説明	.1.3.6.1.2.1.25.3.2.1.3

メモリ容量では、ホストのメモリ容量を表示します。

単位はMB（メガバイト）です。

メモリ容量を検出する為に、以下の OID が取得できる必要があります。

メモリ容量	.1.3.6.1.2.1.25.2.2.0
-------	-----------------------

ディスク容量では、ホストのディスク容量を表示します。

単位はGB（ギガバイト）です。

ディスク容量を検出する為に、以下の OID が取得できる必要があります。

デバイスの種類	.1.3.6.1.2.1.25.3.2.1.2
デバイスの説明	.1.3.6.1.2.1.25.3.6.1.4

NIC ポート数では、ホストの NIC ポート数を表示します。

NIC ポート数では、ホストの NIC ポート数を表示します。

MAC アドレス	.1.3.6.1.2.1.2.2.1.6
----------	----------------------

計測最大電力では、ホストの計測最大電力を表示します。

計測最大電力を検出する為に、以下の OID が取得できる必要があります。

計測最大電力	.1.3.6.1.4.1.674.10892.1.600.60.1.12
--------	--------------------------------------

7.3 構成情報を取得する

本章ではネットワーク機器に対して SNMP を用いて構成情報を取得する例を解説します。

SNMP を用いて構成情報を取得するには、ホスト一覧、もしくはサービス一覧より該当のホストのホスト情報を表示します。

図 ホスト一覧

Osaka-Router	Osaka-Router	稼働 (UP)	2013-07-04 13:58:34	0日と00時間00分17秒	PING OK - Packet loss = 0%, RTA = 3.12 ms
--------------	--------------	---------	---------------------	---------------	---

ホスト情報の画面の「構成情報」タブを開くと、構成情報で登録した情報が表示されます。保守情報、場所情報や電源情報が表示されます。

図 ホスト情報

障害対応ガイド | ホスト詳細 | ドキュメント | **構成情報** | イベントログ | 通知履歴

外部コマンド履歴 | コメント

概要

ハードウェア
Osaka-Router

ハードウェア保守情報

ハードウェア名	Osaka-Router
メーカーシリアル番号	未設定
保守期限	未設定
保守情報	未設定

場所情報

設置場所	未設定
対象ラック	未設定

電源情報

未設定

データセンター設置ラック

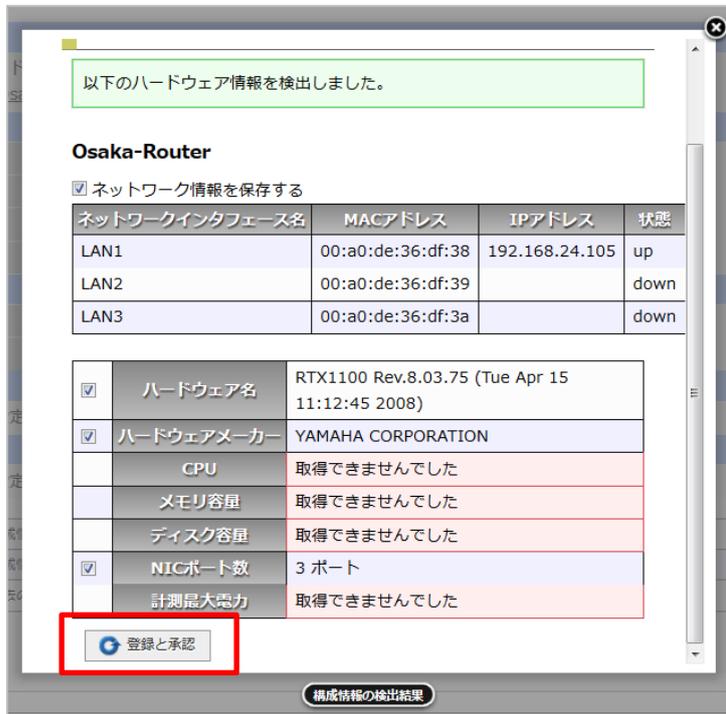
未設定

構成情報を検出する
構成情報を編集する
過去の構成情報を参照する

[構成情報を検出する]をクリックします。

クリックすると、構成情報の検出がされ、別ウィンドウで表示されます。

図 構成情報の検出結果



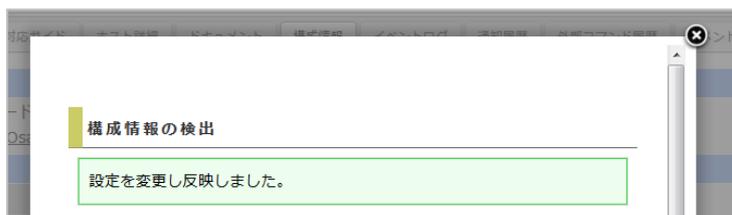
取得できなかった項目は「取得できませんでした」と表示されます。

取得できた項目にはチェックボックスにチェックされた状態が表示されます。

チェックされている項目はそのまま構成情報へ登録が出来ますので、不必要なものはチェックを外してください。

構成情報を登録するには、[登録と承認]をクリックします。

図 反映後



「設定を変更し反映しました。」と表示されます。ウィンドウを閉じるには右上の×ボタンをクリックしてください。

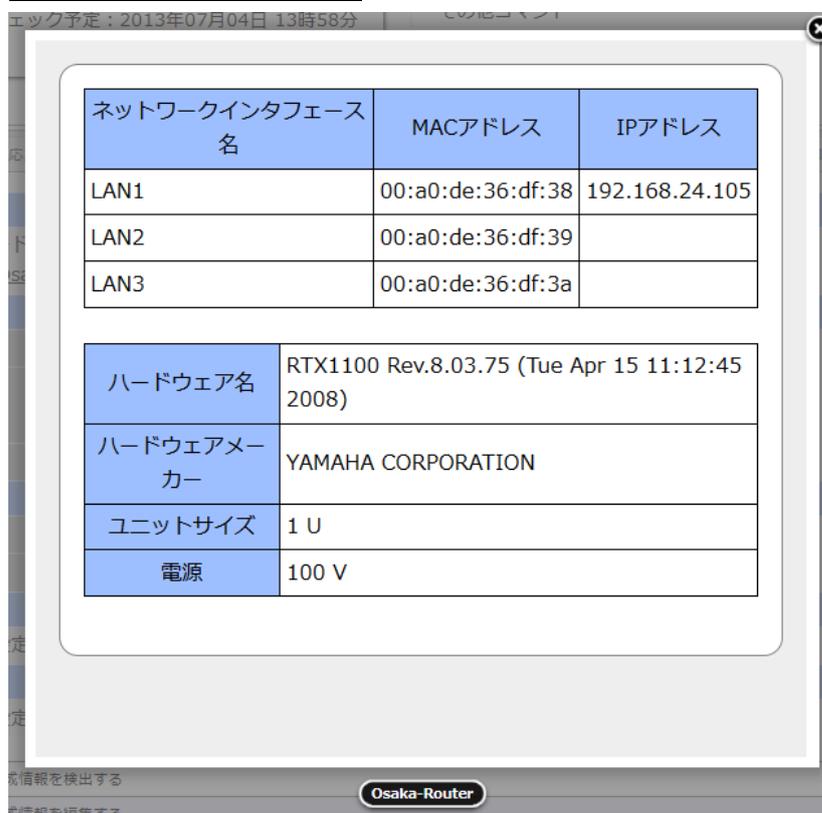
反映されたか、ハードウェア欄のホスト ID のリンクをクリックします。

図 ハードウェア



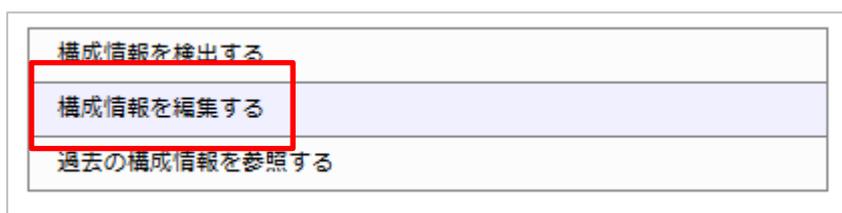
先ほど取得した情報が登録されている事が確認できます。

図 ハードウェア情報の表示



構成情報の編集画面でも確認できます。構成情報画面にて[構成情報を編集する]をクリックします。

図 構成情報を編集する



構成情報の編集画面が表示されますので、[編集]をクリックします。

図 構成情報の編集



ハードウェアの編集画面でも、SNMP で取得して登録した情報が登録出来ている事が確認できました。

図 確認

The screenshot shows a web interface titled "ハードウェアの編集" (Hardware Edit). It contains a table with the following information:

ホストID	Osaka-Router
ハードウェア名	RTX1100 Rev.8.03.75 (Tue Apr 15 11:12:4
ハードウェアメーカー	YAMAHA CORPORATION

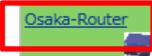
このように、SNMP を利用して構成情報を取得し、情報の登録が出来ました。
構成管理に是非ご活用ください。

8 構成情報の変更履歴を確認する

IT サービスマネジメントの中で機器やソフトウェアの管理の変更管理も重要なプロセスの1つです。X-MON では変更が行われた機器を変更管理に基づき、記録を確認する事が出来ます。

変更履歴を確認するには、ホスト一覧、もしくはサービス一覧より該当のホストのホスト情報を表示します。

図 ホスト一覧

 Osaka-Router	Osaka-Router	稼働 (UP)	2013-07-04 13:58:34	0日と00時間00分17秒	PING OK - Packet loss = 0%, RTA = 3.12 ms
--	--------------	---------	---------------------	---------------	---

ホスト情報の画面の「構成情報」タブを開くと、構成情報で登録した情報が表示されます。保守情報、場所情報や電源情報が表示されます。

図 ホスト情報

障害対応ガイド	ホスト詳細	ドキュメント	構成情報	イベントログ	通知履歴
外部コマンド履歴	コメント				

概要

ハードウェア
Osaka-Router

ハードウェア保守情報

ハードウェア名	Osaka-Router
メーカーシリアル番号	未設定
保守期限	未設定
保守情報	未設定

場所情報

設置場所	未設定
対象ラック	未設定

電源情報

未設定

データセンター設置ラック

未設定

構成情報を検出する
構成情報を編集する
過去の構成情報を参照する

[過去の構成情報を参照する]をクリックします。

図 変更履歴

修正内容		修正者	修正日時	承認者	承認日時
場所	大阪東データセンター	admin	2013-07-04 14:25:34	admin	2013-07-04 14:25:34
ラック	3F-A-10				
ユニット番号	1				
電源	• 電源A-1				
管理用シリアル	ZXCV1012	admin	2013-07-04 14:25:34	admin	2013-07-04 14:25:34
メーカーシリアル	AB-AAAA				
ハードウェアメーカー	DELL				
ハードウェア名	PowerEdge R200				
CPU					
メモリ容量 (MB)	2048				
メモリ備考					
ディスク容量 (GB)					
ディスク備考					
RAID構成					
NICポート数	4				
NIC備考	2013/6 NIC増設				
ユニットサイズ	1				
電源ユニット数	1				
メーカー発表最大電力 (W)					
メーカー発表最小電力 (W)					
計測最大電力 (W)					
計測最小電力 (W)					
電源 (100V, 200V)	100				
保守情報					
購入日時					
保守期限					
アドレス情報	インタフェース名 MACアドレス IPアドレス				
所有者					
使用者					

構成情報の変更履歴が表で表示されます。

また、どのユーザがいつ編集したか修正日時として表示されます。

これにより、正しくデータが入力されたか、誰が編集を行ったかを確認する事が出来ます。また、リソースを追加した場合などで以前のデータとの比較が必要になった場合に、以前の構成をすぐに確認する事が出来ますので、ご活用ください。

9 ドキュメント管理

ドキュメント管理では、ホスト、サービス、構成情報の場所およびラックに関連付けるドキュメントの管理を行います。

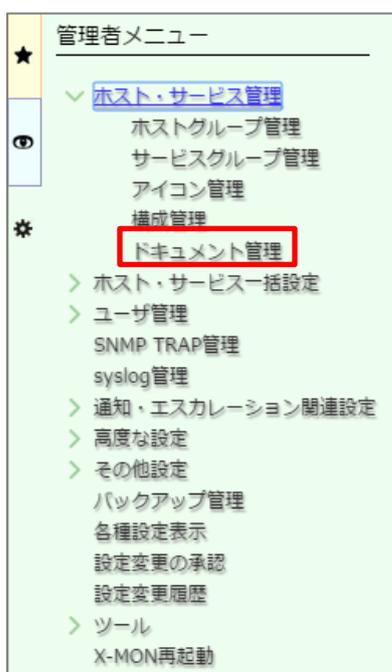
例えば、ホストやサービスには障害時の対応手順などを、場所やラックにはデータセンターの入館用のフォーマット書類などを管理しておくことで便利にご利用頂けます。

また、それぞれ関連付けの方法は異なりますので本章で解説していきます。

9.1 ドキュメントを X-MON に登録する

ドキュメントを X-MON に登録するには[管理者メニュー] - [ホスト・サービス管理] - [ドキュメント管理]をクリックします。

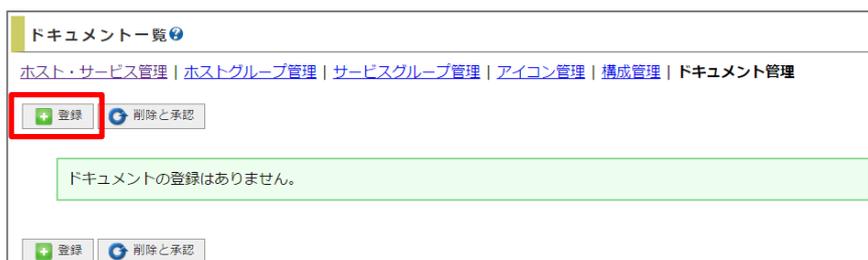
図 ドキュメント管理



ドキュメント一覧が表示されます。

何も登録されていない場合は「ドキュメントの登録はありません。」と表示されます。登録しますので、[登録]をクリックします。

図 ドキュメント一覧



ドキュメントの登録画面が表示されます。

図 ドキュメントの登録

入力項目は以下となります。

ドキュメントファイル	登録するドキュメントファイルを選択します。編集時に、変更することはできません。ファイルの最大アップロード容量は100Mです。
表示名	登録するドキュメントのファイル名とは別に、表示の際に使用する表示名を入力します。入力しない場合、ファイル名が反映されます。
関連付けの種類	ドキュメントを関連付ける対象を選択します。複数 ホストに関連付けるドキュメントの場合、「ホストに関連付けるドキュメント」を選択します。 サービスに関連付けるドキュメントの場合、「サービスに関連付けるドキュメント」を選択します。 構成情報の場所およびラックに関連付けるドキュメントの場合、「場所・ラックに関連付けるドキュメント」を選択します。

関連付けの種類は複数選択する事が出来ます。

関連付けをチェックしていないと、関連付けの設定をする際にドキュメントが表示されませんのでご注意ください。

図 入力例

入力例では、「データセンター入館用フォーマットとして、場所・ラックに関連付けるドキュメントとして登録します。

[登録と承認]をクリックしてください。

図 登録後



「設定を追加し反映しました。」と表示され、登録出来ました。

ドキュメント一覧での表示項目は以下となります。

ファイル名	登録しているドキュメントのファイル名を表示します。ファイル名左のチェックボックス にチェックを入れてクリックすると、ドキュメント情報を削除します。
表示名	登録しているドキュメントの表示名を表示します。サービス一覧表示 - ホスト情報やサービス一覧表示 - サービス情報では、ファイル名ではなく表示名で表示されます。
種類	ドキュメントを関連付ける対象を表示します。 「ホスト」と表示されている場合、ホストに関連付けることができます。 「サービス」と表示されている場合、サービスに関連付けることができます。 「場所・ラック」と表示されている場合、構成情報の場所およびラックに関連付けることができます。
操作	登録されているドキュメントの編集、またはダウンロードが行えます。

ホスト、サービスに関連付けするファイルも登録すると以下のような状態となります。

図 ドキュメント一覧



9.1.1 ホストに対してドキュメントを関連付ける

ホストに対してドキュメントを関連付けるには、ホスト一覧、もしくはサービス一覧より該当のホストのホスト情報を表示します。

図 ホスト一覧



ホスト情報の画面の「ドキュメント」タブを開くとメニューが表示されます。

図 ドキュメント



[ドキュメントの関連付けを変更する]をクリックします。

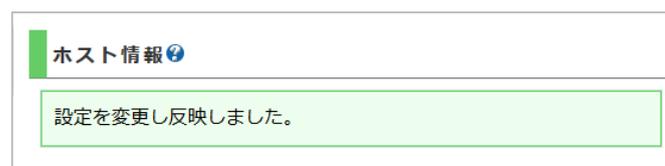
ドキュメントの関連付けが表示されます。ホストに関連付けられているドキュメントが下のウィンドウに表示されますので、選択して[編集と承認]をクリックします。

図 ドキュメントの関連付け



ホスト情報の画面に戻り、「設定を変更し反映しました。」と表示されます。

図 ホスト情報



9.1.1.1 関連付けしたドキュメントを確認する

関連付けしたドキュメントはホスト情報の[障害対応ガイド]と[ドキュメント]で確認できます。

図 障害対応ガイド



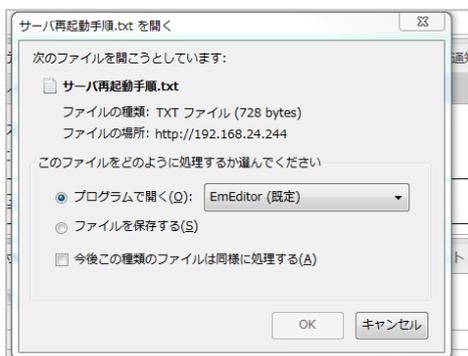
図 ドキュメント



「関連付けられたドキュメント」タブでは「ホストドキュメント」と「場所・ラックドキュメント」の全てが表示されます。それぞれのタブでは、それぞれのみが表示されます。また、「場所・ラックドキュメント」は表示のみでここからはドキュメントの関連付けは出来ません。

ドキュメントにはリンクでクリック出来るようになっていきますので、そのまま「開く」や「名前をつけて保存」が出来ようになっていきますのでご活用ください。

図 ドキュメントクリック時



9.1.1.2 関連付けられたドキュメントを外す

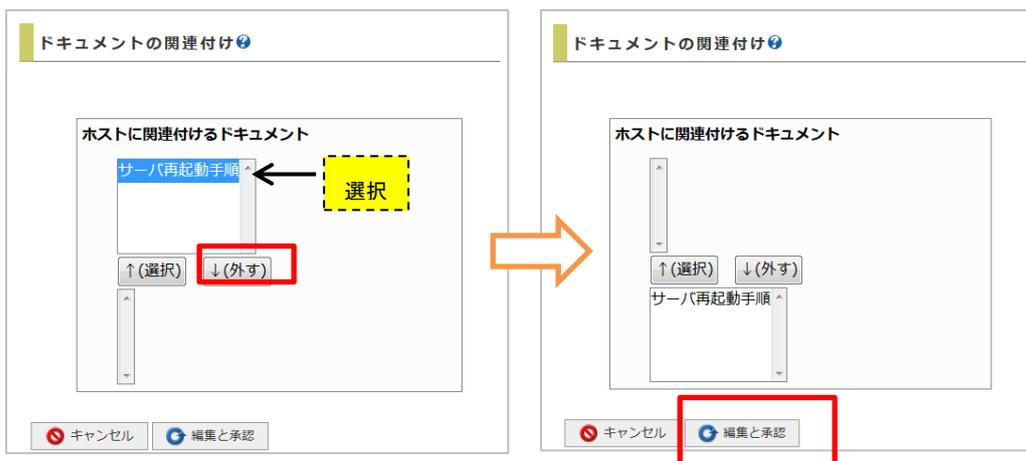
関連付けられたドキュメントを外すには、ドキュメントタブの[ドキュメントの関連付けを変更する]をクリックします。

図 ドキュメント



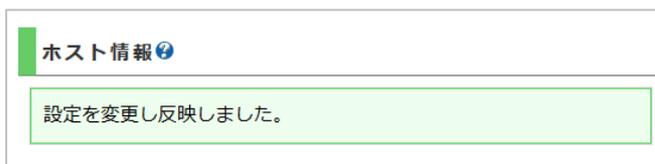
ドキュメントの関連付けの画面が表示されますので外すドキュメントを選択し、[外す]をクリックすると下のウィンドウへ移動します。外せたら[編集と承認]をクリックします。

図 ドキュメントの関連付け



ホスト情報の画面に戻り、「設定を変更し反映しました。」と表示されます。

図 ホスト情報



これでホストへの関連付けを外す作業は完了です。

9.1.2 サービスに対してドキュメントを関連付ける

サービスに対してドキュメントを関連付けるには、サービス一覧より該当のサービス情報を表示します。

図 サービス一覧



サービス情報の画面の「ドキュメント」タブを開くとメニューが表示されます。

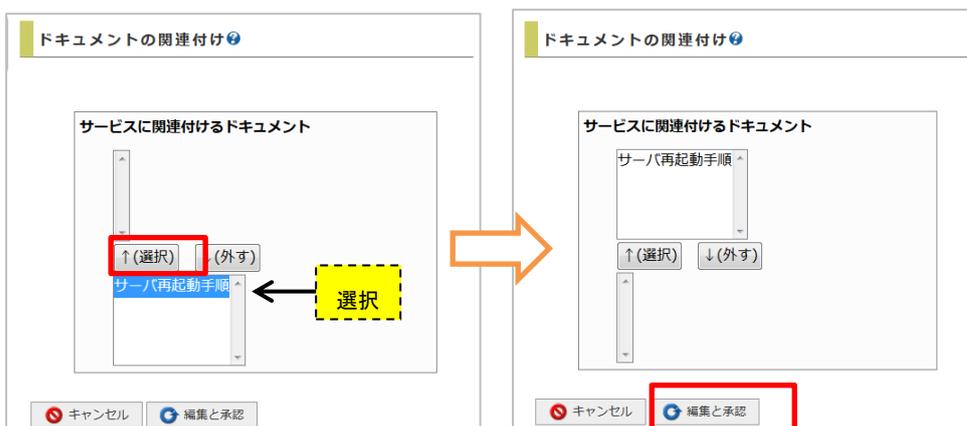
図 ドキュメント



[ドキュメントの関連付けを変更する]をクリックします。

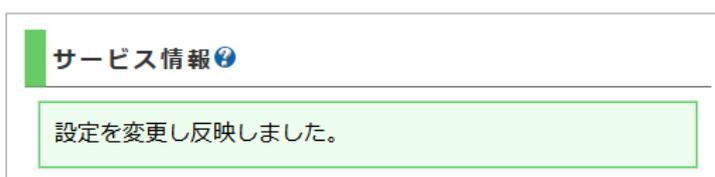
ドキュメントの関連付けが表示されます。サービスに関連付けられているドキュメントが下のウィンドウに表示されますので、選択して[編集と承認]をクリックします。

図 ドキュメントの関連付け



サービス情報の画面に戻り、「設定を変更し反映しました。」と表示されます。

図 サービス情報



9.1.2.1 関連付けしたドキュメントを確認する

関連付けしたドキュメントはサービス情報の[障害対応ガイド]と[ドキュメント]で確認できます。

図 障害対応ガイド



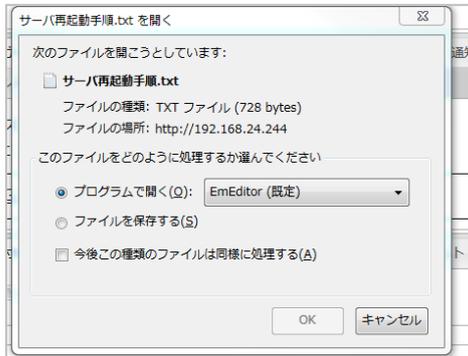
図 ドキュメント



「関連付けられたドキュメント」タブでは「ホストドキュメント」と「サービスドキュメント」と「場所・ラックドキュメント」の全てが表示されます。それぞれのタブでは、それぞれのみが表示されます。また、「ホストドキュメント」と「場所・ラックドキュメント」は表示のみでここからはドキュメントの関連付けは出来ません。

ドキュメントにはリンクでクリック出来るようになっていきますので、そのまま「開く」や「名前をつけて保存」が出来るようになっていきますのでご活用ください。

図 ドキュメントクリック時



9.1.2.2 関連付けられたドキュメントを外す

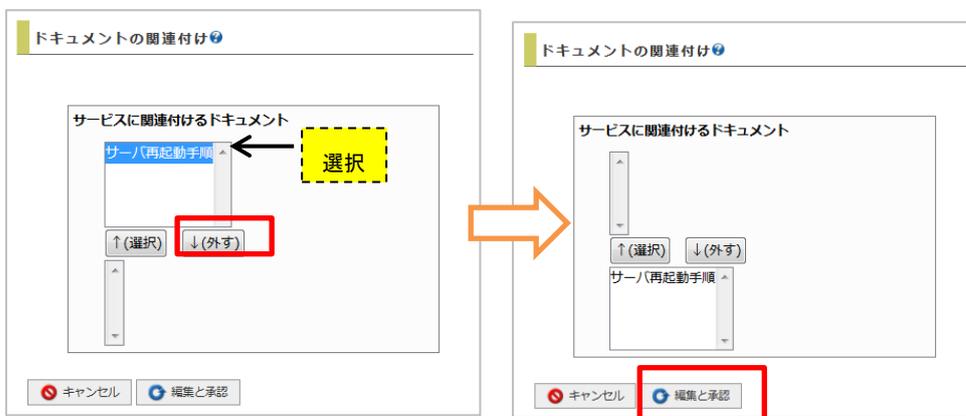
関連付けられたドキュメントを外すには、ドキュメントタブの[ドキュメントの関連付けを変更する]をクリックします。

図 ドキュメント



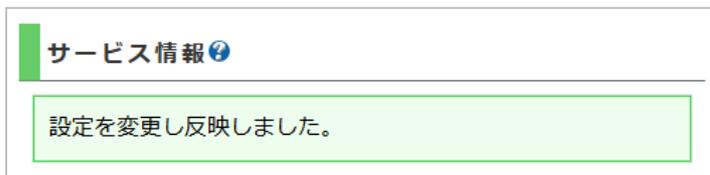
ドキュメントの関連付けの画面が表示されますので外すドキュメントを選択し、[外す]をクリックすると下のウィンドウへ移動します。外せたら[編集と承認]をクリックします。

図 ドキュメントの関連付け



サービス情報の画面に戻り、「設定を変更し反映しました。」と表示されます。

図 サービス情報



これでサービスへの関連付けを外す作業は完了です。

9.1.3 場所に対してドキュメントを関連付ける

サービスに対してドキュメントを関連付けるには、[構成管理]の[場所管理]より行います。

図 場所管理



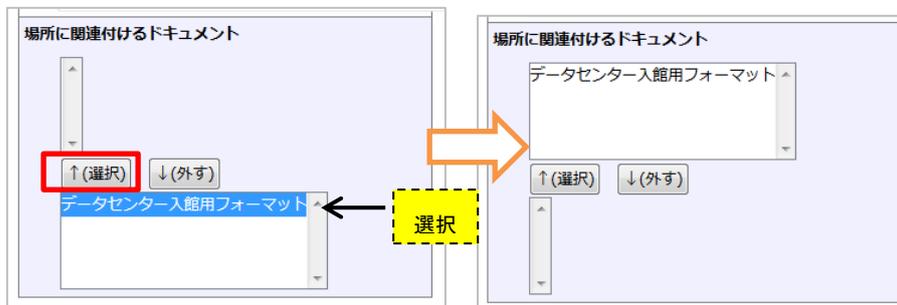
場所一覧が表示されますので、該当の場所の[編集]をクリックします。

図 場所一覧



編集画面が表示されますので、「場所に関連付けるドキュメント」を編集してください。

図 場所に関連付けるドキュメント



編集が出来たら[編集と承認]をクリックしてください。

図 編集と承認



場所一覧の画面に戻り、「設定を変更し反映しました。」と表示されます。

図 編集後



以上で場所の関連付けは完了です。

9.1.3.1 関連付けしたドキュメントを確認する

関連付けられたドキュメントは、場所に設置されているホストのホスト情報、もしくはサービス情報の「障害対応ガイド」と「ドキュメント」の「場所・ラックドキュメント」にて確認できます。

図 ホスト情報の障害対応ガイド



また、マップのロケーションマップでもドキュメントが表示されます。

図 ロケーションマップ



いずれも、必要な場面でご利用頂けるようになっております。

9.1.3.2 関連付けしたドキュメントを外す

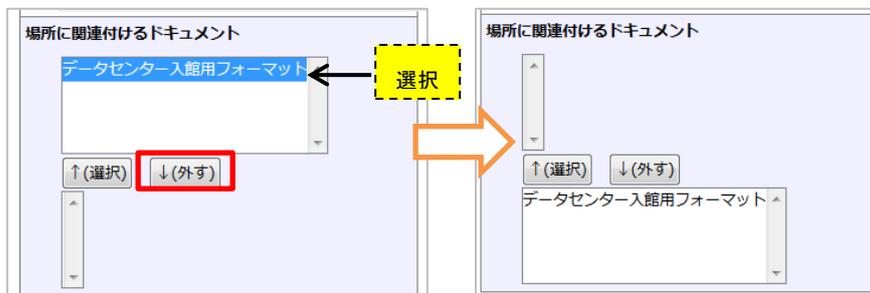
関連付けしたドキュメントを外すには、場所一覧にて該当の場所の[編集]をクリックします。

図 場所一覧



編集画面が表示されますので、「場所に関連付けるドキュメント」を編集してください。

図 場所に関連付けるドキュメント



編集が出来たら[編集と承認]をクリックしてください。

図 編集と承認



場所一覧の画面に戻り、「設定を変更し反映しました。」と表示されます。

図 編集後



以上で場所の関連付けを外す作業は完了です。

9.1.4 ラックに対してドキュメントを関連付ける

ラックに対してドキュメントを関連付けるには、[構成情報]の[ラック管理]より行います。

図 ラック管理



ラック一覧の画面にて、該当ラックの欄の[編集]をクリックします。

図 ラック一覧



ラックの編集画面となります。

「ラックに関連付けるドキュメント」欄があります。場所・ラックに関連付けられているドキュメントが下のウィンドウに表示されますので、選択して[編集と承認]をクリックします。

図 ドキュメントの関連付け



ラック一覧の画面に戻り、「設定を変更し反映しました。」と表示されます。

図 反映後



これでラックへのドキュメントの関連付けは完了です。

9.1.4.1 関連付けしたドキュメントを確認する

関連付けられたドキュメントは、ラックに設置されているホストのホスト情報、もしくはサービス情報の「障害対応ガイド」と「ドキュメント」の「場所・ラックドキュメント」にて確認できます。

図 ホスト情報の障害対応ガイド



また、マップのロケーションマップでもラック設置場所の詳細にてドキュメントが表示されます。

図 ロケーションマップ



いずれも、必要な場面でご利用頂けるようになっております。

9.1.4.2 関連付けしたドキュメントを外す

関連付けしたドキュメントを外すには、ラック一覧にて該当のラックの[編集]をクリックします。

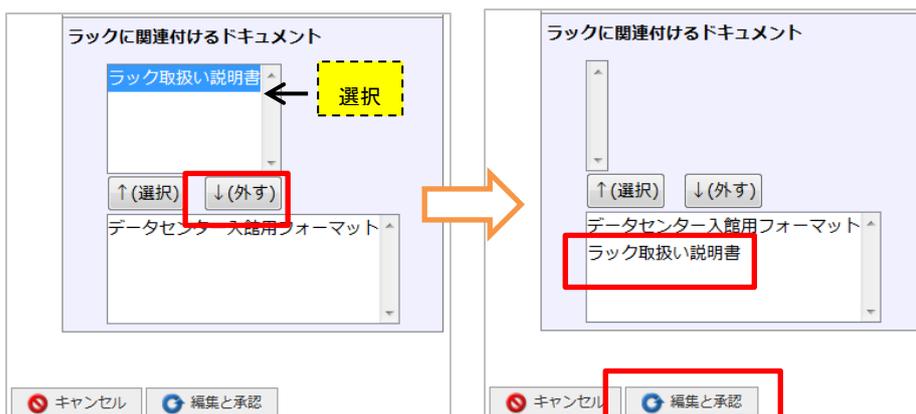
図 ラック一覧



ラックの編集画面となります。

「ラックに関連付けるドキュメント」欄がありますので、外すドキュメント選択して下のウィンドウへ移動させ、[編集と承認]をクリックします。

図 ドキュメントの関連付け



ラック一覧の画面に戻り、「設定を変更し反映しました。」と表示されます。

図 反映後



以上がドキュメントを外す作業となります。

9.1.5 ホスト・サービス情報画面からドキュメントを X-MON に登録する

ホスト、もしくはサービス情報画面の「ドキュメント」タブからもドキュメントを登録できます。

図 ドキュメント



[ドキュメントを新たに追加する]をクリックします。

図 ドキュメントの登録



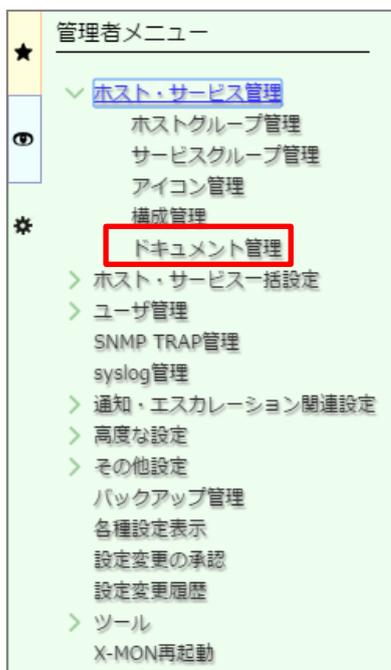
ここでは、直接画面を表示させたホスト、もしくはサービスに対して関連付けをして登録が出来ますので、必要に応じてチェックを入れてください。

場所・ラックに関連付けるドキュメントとしても登録は出来ますが、関連付けは出来ませんのでご注意ください。

9.2 X-MON に登録したドキュメントを編集する

X-MON に登録したドキュメントを編集するには[管理者メニュー] - [ドキュメント管理]をクリックします。

図 ドキュメント管理



ドキュメント一覧が表示されます。

編集する該当のドキュメントの[編集]をクリックします。

図 ドキュメント一覧



ドキュメントの編集画面が表示されます。

項目は以下となります。

ドキュメントファイル	登録したドキュメントファイルを表示します。編集では変更できません。
更新ドキュメントファイル (ドキュメントを差し替える場合のみアップロード)	新しいバージョンのファイルなどドキュメントを差し替える場合のみ、参照ボタンからファイルを選択してください。

表示名	登録するドキュメントのファイル名とは別に、表示の際に使用する表示名を変更できます。
関連付けの種類	ドキュメントを関連付ける対象を変更できます。

入力例は以下となります。

図 ドキュメントの編集

ドキュメントの編集

ドキュメントファイル

入館申請フォーマット.docx

更新ドキュメントファイル (ドキュメントを差し替える場合のみアップロード)

C:\temp\blk20130625\ [参照...](#)

表示名

データセンター入館用フォーマット(2013年度)

関連付けの種類

ホストに関連付けるドキュメント

サービスに関連付けるドキュメント

場所・ラックに関連付けるドキュメント

[キャンセル](#) [編集と承認](#)

編集が出来たら[編集と承認]をクリックしてください。

ドキュメント一覧の画面に戻り、「設定を変更し反映しました。」と表示され、一覧の編集した項目が表示されているかを確認してください。

図 ドキュメント一覧

ドキュメント一覧

設定を変更し反映しました。

[ホスト・サービス管理](#) | [ホストグループ管理](#) | [サービスグループ管理](#) | [アイコン管理](#) | [構成管理](#) | [ドキュメント管理](#)

[登録](#) [削除と承認](#)

ファイル名	表示名	種類	操作
<input type="checkbox"/> 入館申請用フォーマット.docx	データセンター入館用フォーマット(2013年度版)	• 場所・ラック	編集 ダウンロード
<input type="checkbox"/> サーバ再起動手順.txt	サーバ再起動手順	• ホスト • サービス	編集 ダウンロード

[登録](#) [削除と承認](#)

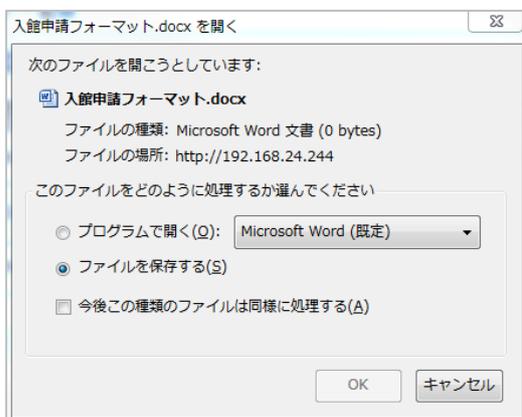
以上でドキュメントの編集は完了です。

9.3 X-MON に登録したドキュメントをダウンロードする 該当のドキュメントの[ダウンロード]をクリックします。



別ウィンドウでダウンロードの画面が表示されますので、任意の場所に保存してください。

図 ダウンロード



また、その他ホストやサービスに関連付けられている場合は障害対応ガイドから、場所・ラックに関してはロケーションマップからもダウンロードして頂けます。

図 障害対応ガイド



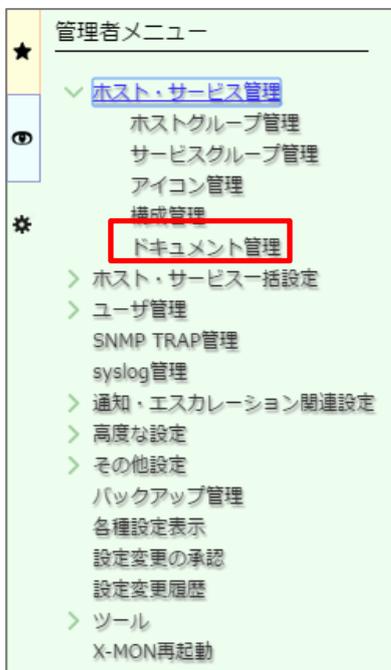
図 ロケーションマップ



9.4 X-MON に登録したドキュメントを削除する

X-MON に登録したドキュメントを削除するには[管理者メニュー] – [ドキュメント管理]をクリックします。

図 ドキュメント管理



ドキュメント一覧が表示されます。

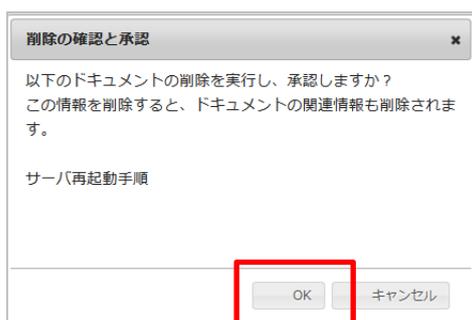
削除する該当のドキュメントの先頭のチェックボックスにチェックを入れて[削除と承認]をクリックします。

図 ドキュメント一覧



削除の確認が表示されますので、内容がOKでしたらOKをクリックしてください
削除を実行すると、自動的にドキュメントの関連付けも削除されますのでご注意ください。

図 削除の確認



ドキュメント一覧の画面に戻り、「設定を変更し反映しました。」と表示され、一覧から該当のドキュメントが削除されている事を確認してください。

図 ドキュメント一覧



以上でドキュメントの削除は完了です。